

【書式39】担保物変換申立書

担保物変換申立書

令和〇年〇月〇日

〇〇地方裁判所民事第〇部 御中

申立人代理人 ○ ○ ○ ○ 印

TEL ○〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

当事者の表示 別紙当事者目録記載のとおり

上記当事者間の令和〇年（ヨ）第〇〇〇〇号不動産仮差押（債権仮差押）命令申立事件について、申立人が供託した別紙第1担保目録記載の担保を、都合により（償還期限が令和〇年〇月〇日に到来するので）別紙第2担保目録記載の担保と変換したく申し立てる。

当事者目録

〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都千代田区大手町〇丁目〇番〇号
申立人（債権者） ○〇〇信用保証株式会社
上記代表者代表取締役 ○ ○ ○ ○

〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都港区虎ノ門〇丁目〇番〇号（送達場所）
上記申立人（債権者）代理人弁護士 ○ ○ ○ ○

〒〇〇〇-〇〇〇〇 横浜市金沢区泥亀〇丁目〇番〇号
被申立人（債務者） 亀田猫丸

第 1 担 保 目 録

供託法務局	東京法務局
供託番号	○年度国第○○○○○号
供託年月日	令和○年○月○日
総 額 面	2 0 0 0 万円
名 称	割引国庫債券（5年）
回 記 号	第 8 回

第 2 担 保 目 録

供託法務局	東京法務局
供託番号	○年金第○○○○○号
供託年月日	令和○年○月○日
供託金額	金 1 4 0 0 万円

（注）上記記載例は、割引国債供託から現金供託へ担保物変換した場合の例となります。
支払保証委託契約（ボンド）の場合や、振替国債の方法で供託する場合など様々な

担保の形態がありますので、それに合った担保目録の記載をしてください。